

報道関係者各位
プレスリリース

ドローンでプラントのガス漏れ箇所を発見するサービス提供を開始 メタンガスなどの漏洩を可視化し、カーボンニュートラルの促進や安全性の向上へ

2022年7月、株式会社アイ・アール・システム(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:藤井葉子)は、ドローン搭載型のガス検知用カメラ「OGI640」によるガス漏れ箇所を発見するサービスの提供を開始しました。

カーボンニュートラルへの各社の取り組みが活発化する中、プラントやパイプラインにおける、目視では確認出来ないガス漏れを上空からカメラで検知する最新技術への期待が高まっています。本カメラはメタンやプロパンなどの無色透明な可燃性ガスを可視化することが出来、安全対策として大きな効果が期待されます。



図 1: DJI 社 Matrice300 RTK に「OGI640」を搭載 図 2: プロパンガス可視化の様子(プロポ画面)
(製品ページ: https://www.irsystem.com/product/ventus_ogi_for_uav/)

製鉄、石油、発電プラントへの活用

「OGI640」は、製鉄や石油、発電プラントにて多く使用、製造されているメタンなどの炭化水素系ガスを検知します。ガスの検知は固定設置型のセンサーやポータブル式のガス検知器を用いて行われてきましたが、それらの方法ではセンサーや検知器にガスが接触しないと検知出来ないため、作業員が危険なガスが発生しているエリアに立ち入らざるを得なかったり、漏洩箇所の特定に時間がかかったりといった課題がありました。

しかし、ガスをカメラで可視化することでガスを遠方から検知出来るため、危険なガスを事前に察知すること、また、ガスの漏洩箇所を容易に発見することが可能となりました。

DJI 社製の Matrice シリーズに簡単接続

本カメラは中国の大手ドローンメーカーである DJI 社製の Matrice シリーズ向けにカスタマイズされており、Matrice のポートに接続することでドローンからの電源供給を受け、カメラ映像をドローンの映像伝送システムにのせて地上へ伝送することが出来ます。



図 3:「OGI 640」本体



図 4: DJI 社製プロポにガスカメラ映像が映し出されている様子

メンテナンス・レジリエンス TOKYO にて実機の展示

2022年7月20～22日より東京ビッグサイト東展示棟にて開催される、メンテナンス・レジリエンス TOKYO2020内のプラントメンテナンスショーにて実機を展示し、実際に動作する様子を公開予定です。

【製品概要】

名称	LinkedAll Products 社製「OGI 640」
対応ドローン	Matrice 200 V2 / Matrice 210 V2 / Matrice 210 RTK V2 / Matrice 300 RTK
検知可能ガス	主にメタン、プロパン、ブタンなどの炭化水素系ガス
寸法	幅 71×奥行 148×高さ 73mm
重量	約 1,150g
画素数	640×512
焦点距離	25mm
検知波長	3.2～3.42 μ m

【会社概要】

商号	株式会社アイ・アール・システム
代表者	代表取締役 藤井葉子
所在地	〒206-0041 東京都多摩市愛宕 4-6-20
設立	1993年5月25日
事業内容	赤外線を主とする光学機器・測定器および部品の輸入販売 光学機器の設計開発 光学機器を用いた測定サービスおよび機器レンタル
資本金	1,000万円
URL	https://www.irsystem.com/

【製品及び本プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社アイ・アール・システム
TEL:042-400-0373
Email:office@irsystem.com